発行　高雄・気良青年歌舞伎実行委員会

高雄・氣良 地歌舞伎

かわら版 八号

気良歌舞伎祭礼公演開催

九月十六日(土)、気良白山神社祭礼公演にて伽羅先代萩を演じました。会場には大勢の方にご来場いただき誠にありがとうございました。

十一月の文化センター公演にもぜひ起こしくださいくださいませ。

地歌舞伎コラム

シリーズ農村舞台探訪 ④

「下呂・門和佐の舞台」

岐阜県にも素晴らしい農村舞台が残っている。今回は郡上に最も近い下呂の芝居小屋を紹介したい。「門和佐の舞台」として国の重要有形民俗文化財に登録されている白雲座である。

郡上の東端、和良町から下呂をつなぐ真新しい濃飛横断自動車道を車で走ると飛騨川の渓谷沿いの益田街道に突き当たる。そこから少し南下して県道432号線へ入る。途中、すれ違うのも困難に思える細い山間の道が続き、やがて民家もまばらとなり、この先に集落があるのか不安になるような道を進む。ようやく二車線の道に出ると少し視界が開けてきて、穏やかな農村の風景が目に飛び込んできた。久しぶりに見る商店の手前で大通りを外れて右に入るとほどなく白雲座のある白山神社の参道にたどり着いた。あたりは傾斜地ではあるものの開けていて、田畑の中に家屋が点在する、まさに日本の農村の原風景。その風景の中にひときわ存在感のある木造の建物が白雲座であった。

白雲座は。これまで巡ってきた農村舞台のように神社の境内を観客席としているのではなく、建物内に数百人を収容できる芝居小屋である。やはり他の地域と同様に信仰・祭礼に合わせて受け継がれてきたのであろう。石段の上に建てられている白山神社とその拝殿から見下ろせる場所に建てられている。明治時代に造られた総ヒノキ造りはなんともいえない風情がある。建物の大きさに比べて明らかに狭い入口は、余計な光を遮り、公演中の観客の出入りを制限するためには当然の構造であったのであろう。内部は二階席のある劇場型の造りである。舞台の上を渡している立派な梁がこの建物の歴史と建設当時の住民たちの情熱をひしひしと感じさせてくれる。

今なお日本各地には、農村舞台が残っている。中でも足を踏み入れた瞬間、歴代の役者、観客達の情熱がぐっと胸に迫ってくるような珠玉の舞台。そんな“一度は訪れてもらいたい”農村舞台を紹介するシリーズ。

定期公演は十一月二日・三日。普段は静かに佇む白雲座にこの日ばかりは人の熱気が満ち溢れる。天井を埋め尽くすほど御祝儀の花が掲げられ、二階席は地元の家族が座布団と弁当持参で場所取り。さらには観光客もどっと押し寄せて満員。幕間には子供達がきゃっきゃと走り回る。隣から「今年の○○役は、○○さんのところの子供で……」なんていう言葉が聞こえてくる。これが昔から変わらない農村舞台の光景なのだろう。そう感じさせてくれる素敵な舞台が白雲座なのである。

写真＊29年 気良歌舞伎 伽羅先代萩 汁の井

2017年　公演予定

11/19 日

高雄・気良青年歌舞伎

会 場　**郡上市総合文化センター**　郡上市 八幡町 島谷207-1

開 演　**13:00から**

チケット販売先

郡上市総合文化センター・明宝観光協会 ほか

編集後記

お陰様を持ちまして気良歌舞伎の祭礼公演が無事に終わりました。原稿を書いている時点では高雄歌舞伎の祭礼公演はまだ開催されておりませんが、稽古にも熱が入りきっと良い舞台になることでしょう。さて次は文化センターでの高雄・気良青年歌舞伎公演です。青年歌舞伎も三年を目標にやってきましたので、三年目の今回が集大成となります。観客の皆さんに喜んでいただけるよう役者一同がんばりますので是非ご来場ください。

（気良歌舞伎座　澤）

高雄・気良 地歌舞伎かわら版

八号（平成29年10月号）

発　行

高雄・気良青年歌舞伎実行委員会

問合先　気良歌舞伎事務局

kerakabuki@gmail.com

検索【気良歌舞伎】

最新情報 Facebook

明宝振興事務所　(0575) 87-2211

明宝公民館　(0575) 87-2016